

★令和5年4月7日(金)の入学式で、PTA役員決めを行います。その際、本手引を持参していただきますよう、宜しくお願いします。



下辺見小PTAの手引 (案)

1. P T A とは何か？

≪ P T A とは何ですか？ ≫

P T A とは、保護者と教職員とが、子どもたちの健やかな成長と幸せのために、共に話し合い、学び合って、活動するところです。

下辺見小P T A の会員は、下辺見小に通うすべての子どもの保護者と、下辺見小に在籍するすべての教職員です。(一世帯一会員です)

*会則第3条(目的) この会は保護者と教員が協力して、学校と家庭と社会における児童の幸福な成長をはかることを目的とする。

≪ P T A はどんな活動をするのですか？ ≫

- ① 子どもたちの学校・地域・家庭の中での生活(教育環境)が、より豊かなものになるために活動する。
- ② そのために必要な研修・学習・啓発を行う
- ③ 学校の教育環境の整備・拡充に協力する。
- ④ その他、P T A の目的である、子どもたちの幸福な成長のためには、何が必要か皆で考え合って活動していきます。

そして、下辺見小P T A と同じ願いを持つ他の団体や機関と協力していくことも大切です。

2. 委員や役員に参加負担について

下辺見小PTAは、児童の学習や生活の環境をより良くする事を目的として活動しています。そのPTA活動への保護者会員の参加のあり方について、平成14年度の臨時総会で、「参加負担義務の平等化」が決議されました。その趣旨にご理解をいただき、ご協力をお願い致します。

— 参加負担義務の平等化 —

保護者は、児童1人当たり1ポイントの参加義務を有する。

— 参加ポイント —

1年間の委員、又は役員への参加をもって1ポイントとする。

ただし、やむを得ず任期途中で交代した場合、後任者がその年のポイントを得る。

— 自主的参加 —

参加負担ポイントは、自主参加を制限しない。

ただし、余剰分はポイントの対象としない。

やむを得ず高学年で2回目の役員になった場合は委員長及び副委員長は免除できる。

— 兼任事項 —

同世帯において同時期に、委員や役員を兼任する事はできない。

ただし、会計監査委員（一部制限あり）と地区委員を除く。

— 複数年の参加義務のある委員や役員の取り扱い —

複数年の参加義務のある委員や役員は、その余剰ポイント分を対象児童の兄弟姉妹分とする事ができる。この時、兄弟姉妹の入学の有無は問わない。

◎ 複数年の参加義務のある委員や役員

- (1) 役員 2年（内、会長1年・副会長1年）
- (2) 企画役員 2年
- (3) 女性ネットワーク委員 1年

— 会計監査の取り扱い —

会計監査は、ポイントの対象としない。

同世帯において同時期に役員、企画役員、各種委員会の正副委員長との兼任をさせてはならない。

— 地区委員の取り扱い —

地区委員は、ポイントの対象としない。

☆役員・及び委員のポイントについて☆ (H31年度総会資料参照)

	選 出 方 法	基数	ポイント
役 員 (会長←副会長)	選考委員会により選出後、総会で承認	2年	4
副会長	PTA 会長が委嘱する	2年	3
会計監査委員	PTA 会長が委嘱する	3年	0
企画役員 書 記 会 計	P T A会長が委嘱する	2年	3
学年委員	各学年よりクラス数×1名選出	1年	1
広報委員	各学年より2名選出		
厚生・体育委員			
生活委員			
地区委員	各地区より選出	1年	0
顧 問	前会長又は元本部役員		0
女性ネットワーク委員	各委員会の前委員長より1名選出 他各委員会の前委員より1名選出	1年	1
家庭教育学級委員	各学年より1名選出	1年	1

3. P T A の組織について

《総会は何をするところですか？》

総会は、会員が集まって、P T Aの活動や会計のことなどについて、みんなで話し合っ て決める ところ です。総会がP T Aの中で一番決める力を持っている会議です。P T Aの活動や運営について決めていくのは会員です。会員一人一人が意見を出し合っ て決めていくのです。ですから会員は、総会になるべく出席して、自分の質問・意見・要望などを発言しましょう。そして、出された意見に対しては、その場に参加している人皆で話し合っ ていきましょう。総会が会員の活発な話し合いの場になるのが理想です。議長（総会の場で参加した人の中から選びます）は、出席者が発言しやすいような雰囲気作りに努めましょう。そして、質問や意見などは、たった一人の会員から出されたものでも尊重して、総会の場で十分に検討するように議事を運営します。出席してよかった、発言してよかったと思えるような総会に会員みんなですていきましょう。

総会は、年1回以上、1回目は年度始めに開かれます。この年度始めの総会の他に、臨時に総会が開かれることもあります。臨時総会は、必要に応じて開催されます。年度始めの総会では、その年の活動計画や予算が話し合いの中心になります。また、規約の改正を行う時は総会で話し合い、会員の承認が必要です。

《運営委員会とは何ですか？》

運営委員会は、全学年委員、広報正・副委員長、厚生体育正・副委員長、生活正・副委員長、家庭教育学級正・副委員長、女性ネットワーク委員と本部役員、及び学校長が出席して話し合う場です。運営委員会は、総会で決められたことにしたがって、P T Aの活動を具体的に運営する ところ です。総会で決まった活動計画や予算にしたがって、一年間の活動・運営について各委員会の意見をまとめながら、話し合いを進め、それを形あるものにしていきます。

運営委員会は、年数回開かれます。

運営委員会で提案されたことは各委員会に持ち帰っ て話し合われます。各委員会の話し合いの結果は、運営委員会に報告され、その場でまた話し合われます。運営委員会は、常に会員は何を望んでいるのか、どんなことを考えているのかを幅広くキャッチして、会員の声に答える形で話し合いを進めていくことが大切です。委員会を通して届けられる会員の声を大切にす ていきましょう。

なお、年度始めの運営委員会では、活動計画や予算についてが話し合いの中

心になります。

年度末運営委員会では、一年間の活動報告がされ、その報告について話し合い反省し、次の年へその反省がいかせるように検討します。

また、年度末運営委員会では、選考委員会より選出された次の年の新しい本部役員の候補者が報告されます。

運営委員会は総会の次に決める力(決定権)を持っているところです。

4. どのような委員会がありますか？

委員会はどんな活動をしていますか？

《学級委員》

P T A活動の基礎は学級にあります。各クラスでは、学級委員（学年委員、広報委員、厚生体育委員、生活委員、家庭教育学級委員）を選びます。この学級委員と担任の先生とで、学級委員会を構成します。学級長は学年委員も兼ねます。そして、学級長（学年委員）が必要に応じて学級委員会を開きます。

学級委員会では、クラスの会員の意見をもとに、学級懇談会を開いたり、さまざまな学級活動を企画します。一番大切な仕事は、クラスのP T A会員がどんな悩みを持っているか、どんな要求を持っているかをキャッチして、クラスの中で話し合っ解決するために努力することです。そして、クラスの保護者と先生とのコミュニケーションが十分に取れるようにします。これは、学級長だけでなく、学級委員全員の仕事です。

《学年委員会》

学年委員会は、各学年から選ばれた学年委員で構成されます。そして、互選で正副委員長を選びます。そして学年委員長は必要に応じて学年委員会を開きます。

学年委員会の仕事は、各クラスから出された会員の意見などを、学年委員会全体として話し合ったり、必要に応じて、P T A全体の問題として検討したりします。具体的には、学年懇談会や学年行事を行ったり、学年ごとの学習会・P T A全体の学習会なども企画することができます。子どもたちの幸せな成長のために何が必要かを学習する活動をすることです。子どもたちが今どんな環境で暮らしたらよいのか、どんな気持ちで暮らしたらよいのか、今の子どもたちの姿を正しくとらえ、また、子どもたちが伸びやかに成長するためには、ど

んな学校・地域・家庭であったらよいのか、それらのことを学ぶ学習会や講演会を企画します。

もうひとつの大きな仕事は、各学年から出された会員の意見を、運営委員会で報告することです。学年委員は、クラス会員と運営委員会を結ぶ大事なパイプ役です。運営委員会で話し合われたことも、懇談会などを通して、クラスの会員に伝えることも大切です。学級PTAだよりを発行してもよいと思います。

★主な活動

- ・学校保健委員（2名）
- ・若竹実行委員（2名）
- ・学年、学級懇談会への協力（授業参観時）
- ・PTA研修視察の企画及び開催
- ・読み聞かせの運営（1年生～3年生の学級対象児童）
- ・資源ごみ回収への協力
- ・若竹まつりなどへの協力

《広報委員会》

広報委員会は、各学年から選ばれた広報委員と、広報委員担当教職員とで構成されます。そして、互選で正副委員長を選びます。広報委員長は、必要に応じて広報委員会を開きます。

広報委員会は、PTAの広報に関する活動を行います。

主な仕事は、PTA広報紙の発行です。広報紙は、PTA活動を会員に知らせたり、会員同士の意見交換の場や、交流の場として大切な役割を担っています。

PTA行事の報告、各委員会活動の報告など、そうしたお知らせと同時に、会員が抱えている問題をテーマにしたり、あるいはその時の地域・学校・家庭で抱えているさまざまな問題に焦点を当てたりすることもできます。父母と教師が力を合わせて、子どもの幸せを願うために活動するというPTAの目的に沿った視点であれば、どんなテーマでも特集記事を組むことができます。

また、広報委員会の中で十分に話し合っ、いろいろな問題提起もしていきましょう。

★主な活動

- ・下辺見小広報誌「わかば」年間数回発行
- ・学校保健委員（2名）
- ・若竹実行委員（2名）
- ・若竹まつりなどへの協力
- ・資源ゴミ回収への協力

《厚生体育委員会》

厚生体育委員会は、各学年から選ばれた厚生体育委員と厚生体育委員担当教職員とで構成されます。そして、互選で正副委員長を選びます。厚生体育委員長は、必要に応じて厚生体育委員会を開きます。

厚生体育委員会の主な仕事は、PTA 会員の親睦と体力向上をはかるため会員のスポーツ・レクリエーションの開催や、学校給食の効率化、教育環境の整備など、環境面で子どもたちをサポートしていくことです。

★主な活動

- ・学校保健委員（2名）
- ・若竹実行委員（2名）
- ・資源ごみ回収への協力
- ・若竹まつりなどへの協力
- ・運動会前日準備
- ・運動会種目決め及び募集
- ・白衣点検

《生活委員会》

生活委員会は、各学年から選ばれた生活委員と生活委員担当教職員とで構成されます。そして、互選で正副委員長を選びます。生活委員長は、必要に応じて生活委員会を開きます。

生活委員会の主な仕事は、児童の校外生活の指導や歩き方教室、自転車教室への協力です。昨今は子どもたちを狙った犯罪も多発しています。防犯対策も非常に重要な課題であると思います。子どもたちが健やかに成長するために必

要だと思ふことを、PTA会員みんなで考え合い、学び合う場を作っていくのが生活委員会の大きな役割です。

★主な活動

- ・児童の校外生活の掌握と指導（夏休み、冬休みパトロール）
- ・わかたけ隊への参加(後述)
- ・学校保健委員（2名）
- ・若竹実行委員（2名）
- ・資源ゴミ回収への協力
- ・若竹まつりなどへの協力
- ・交通安全指導への協力
- ・ベルマーク運動等の促進と充実

《家庭教育学級委員会》

家庭教育学級委員会は、各学年から選ばれた家庭教育学級委員と家庭教育学級委員担当教職員とで構成されます。そして、互選で正副委員長を選びます。家庭教育学級委員長は、必要に応じて家庭教育学級委員会を開きます。

家庭教育学級委員会の主な仕事は、家庭教育学級の推進、企画、実施です。PTA会員同士の交流の場や意見交換の場、また、親子レクレーションなど会員や子どもたちが楽しめる場を企画、実施する大切な役割を担っています。

★主な活動

- ・家庭教育学級の推進
- ・自学年の家庭教育学級の企画及び実施
- ・他学年の家庭教育学級実施時の協力
- ・各種講演会への参加
- ・資源ゴミ回収への協力
- ・若竹まつりへの協力

《女性ネットワーク委員》

女性ネットワーク委員とは、通称「女ネット」といい、各委員会の前委員長より1名と他委員会の前委員より選出された1名、女ネット担当教職員で構成されています。

女ネットの主な仕事は、女ネットの委員会や様々な講演会（家庭教育学級、人権等）に出席し運営委員会で報告することです。そして「子どもたちの命と未来を守るため」に女性ネットワークによる情報と情熱ネットワークで、『茨P連⇔地区P連⇔市町村P連⇔単位PTA⇔家庭』をつないで行くことが大きな役割です。知っている顔から知っている顔へ、大切な情報を伝えていきましょう。

★主な活動

- ・古河市女性ネットワーク委員会に出席
- ・各種講演会への参加
- ・若竹まつりへの協力

《地区委員会》

地区委員会は、各地区から代表として選ばれた地区委員で構成されます。地区委員は、地区の活動の母体となり、常時本部と連絡を取り合い、本部より委嘱された仕事を行います。通学班の編成や立哨当番の割り振りなど、地区におけるさまざまな問題を、学校やPTA、地域の方たちと話し合うときの中心になります。そして教頭先生が学校の担当となります。子どもたちの安全を守るために、地区ごとに地域の方とともに安全マップを点検し更新していくことも大きな役割です。

★主な活動

- ・交通安全指導への協力や立哨当番の割り振り
- ・登校班、集合場所、登校経路、立哨場所の検討
※地区の新生へ、通学班の連絡
- ・「わかば」等の回覧
- ・資源ごみ回収への協力（回収場所の責任者として）

《父親の会》

お父さん方のPTA活動への積極的な参加・協力により時代に対応したPTA活動をとということで、多くのお父さん方に参加を呼びかけています。お父さん方相互の親睦を深め合うことを一番の目的に活動しています。

★主な活動

- ・資源ごみ回収
- ・奉仕作業
- ・若竹まつり
- ・運動会

《わかたけ隊》

下辺見小、PTA、地域の皆さんの協力をいただき、子どもを犯罪から守り子どもにとって安全・安心な地域をつくることを目的に平成18年3月10日に結成されました。

★主な活動

- ・散歩、買い物等で外出する際に、あいさつ運動等を行い地域で子どもたちの様子を見守っていく。
- ・登下校の時間帯で場所を指定せず、無理のないパトロール活動をする。
- ・不審者への直接の関わりはせず、学校や関係機関との連携で対応をする。
- ・年に2回総会を開き、安全対策等について情報交換を行い、改善を図る。
- ・年1回か2回、安全対策について連絡協議会を開催する。

《古河市PTA連絡協議会》

古河市の各校のPTAが相互に連絡連携をとっています。本校のPTAの役員も連絡協議会に参加しています。

構成

単位PTA会長	1地区
副会長	3地区
事務局担当者	
学校長	1地区
P連女性ネットワーク委員長・副委員長	

5. 役員について

《役員と委員とは違うのですか？》

委員とは各学年から選ばれた、学年委員、広報委員、厚生体育委員、生活委員と家庭教育学級委員、女性ネットワーク委員、地区委員のことで、役員は委員と違って、選考委員会が会員の立候補や推薦をもとに選出し、総会の承認を経て決まります。委員はクラスのことや、学年のこと、あるいは学年委員、広報委員、厚生体育委員、生活委員、家庭教育学級委員、女性ネットワーク委員などの専門委員会の活動をしますが、役員はPTA全般に関わる仕事をします。

《役員構成はどうなっていますか？》

役員構成は・・・	会 長	1名	保護者
	副会長	若干名	保護者2名及び教職員1名
	書記	3名	保護者2名及び教職員1名
	会計	3名	保護者2名及び教職員1名
	会計監査	3名	保護者
	顧問	1名	保護者

《役員任期》

役員任期は会長・副会長は数年、書記・会計は2年、会計監査は3年となっています。顧問は前会長又は元本部役員が就くものとし、任期は定めのないものとし、また、再任は妨げません。

《役員はどんな仕事をするのですか？》

役員は総会で決められたことに基づいて、PTAの活動がスムーズに行われるように事務的な仕事をします。

会長 会長はP T Aの代表です。具体的な仕事としては・・・

- 総会や運営委員会の開催
- 運営委員会や会員に提案・提出する資料の確認
- 会員に配る手紙・資料などの確認
- P T Aの会計収支の確認
- P T Aを代表して、学校行事や対外的な行事に出席

副会長 会長の仕事を補佐します。また、会長が不在の時は会長の代理を務めます

- 運営委員会・役員会の司会
- 運営委員会や会員に提案・提出する資料などの確認
- 会長と共に、又は代理として、学校行事や対外的な行事に出席

書記

- 議事録の作成、および保管
(P T A総会、運営委員会、役員会ほか)
- 会員に配る手紙・資料などの作成、および保管
- 会長の指示に従い会の庶務を行う

会計

- P T Aのすべての収入・支出の記録、管理
- 予算書・決算書の作成
- 年度末に会計監査を受ける

会計監査

- 年度末に会計監査を行う
- 総会にて会計監査の結果を会員に報告
- P T Aに関わるお金の出し入れが適正に行われているか、会計伝票・帳簿・預金通帳・領収書などをチェック

顧問

- 会長・副会長の仕事を補佐します。また、会長・副会長が不在の時は代理を務めます。

6. 会計について

会計には、一般会計と特別会計があります。
一般会計は、予算化してP T A活動の目的を達するために使われるものです。
例えば、P T Aの専門委員会の活動に使ったり、子どもたちの活動を支援する児童活動費などに使ったりします。

特別会計は、一般会計で予算化されないが「子どもたちのために」ということで、今必要とされる物を購入したりします。

また、創立記念事業など支出の多いものに対しても使われます。特に予算化しているものではありません。

7. 最後に…

最初に書いたように、PTAは、保護者と教職員とが子どもたちの健やかな成長と幸せのために、共に話し合い、学び合って活動するところです。今、子どもたちを取りまく環境はとても厳しいものがあります。学校も地域も、家庭もさまざまな問題を抱えています。一人で悩んでいても解決しないことがたくさんありますが、いろいろな知恵を出し合い、力を合わせていけば、解決できることもあります。さまざまな人たちと力を合わせて何かを成し遂げるということは、とてもすばらしいことだと実感できるのも、PTAのよいところです。

近年、会員の誰もが忙しく、貴重な時間をさくことは大変です。それでも少しの時間を出し合って、協力してPTA活動をしていきましょう。子どもが学校に入学した時点から委員・役員は、避けては通れません。委員や役員も積極的に引き受け、学校の行事やPTA活動に積極的に参加していきましょう。